



病気の早期発見のために 超音波(エコー)検査をおすすめします

超音波(エコー)検査とは?

超音波を手のひらサイズの機械から体内に送り、その反射波から臓器の大きさや形状などを調べる検査です。

悪性腫瘍(膵臓がんなど)から動脈硬化まで、幅広い病気の発見につながります。

放射線による被ばくがないため、体に害はありません

痛みもなく、10~15分程度で終了する簡単な検査です



超音波(エコー)検査で、どんなことがわかるの?

腹部エコー

肝機能異常で検査

背部痛で検査

脂肪肝

肝臓(脂肪肝) 腎臓



腎結石症

腎結石



その他、各臓器で多くの疾患が検査でわかります。

肝臓 肝臓癌・肝炎・肝硬変など

胆のう 胆のう癌・胆のうポリープ・結石など

膵臓 膵臓癌・膵炎など

腎臓 腎臓癌・腎炎など

脾臓 脾腫など

腹部大動脈 大動脈瘤など

膀胱 膀胱癌・膀胱炎など

前立腺 前立腺肥大など

頸動脈エコー

- ◆ 動脈硬化の進行度
- ◆ 頸動脈のつまり具合
- ◆ プラーク(脳梗塞の原因)の有無

頸動脈プラーク

脳梗塞の原因になる血栓になり得ます。大きさや性状によっては治療も必要となります。

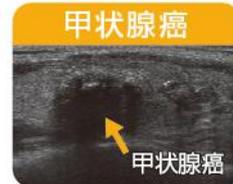


甲状腺エコー

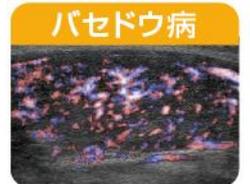
- ◆ 甲状腺腫瘍
- ◆ 甲状腺機能異常(バセドウ病、橋本病など)

甲状腺癌

甲状腺癌



バセドウ病



下肢血管エコー 閉塞性動脈硬化症、下肢深部静脈血栓症(エコノミークラス症候群)など

乳腺エコー 乳癌、乳腺炎など

心臓エコー 弁疾患、心不全、心筋梗塞など

お気軽に、医師にご相談ください。